

Hendra virus Primer/Probe Mix

Code No. RC504A

容量： 50 回
(25 μ l 反応系)

● 内容

● HeV Primer/Probe Mix 10 \times 125 μ l

● 検出対象遺伝子とプローブ標識

| 検出対象遺伝子 | プローブ標識 |
|----------------|-------------------|
| ヘンドラウイルス N 遺伝子 | FAM/Dark Quencher |

● 形状 TE バッファー

● 保存 -20 $^{\circ}$ C

● 使用例

One Step PrimeScript[™] III RT-qPCR Mix, with UNG (製品コード RR601A/B) と組み合わせて使用する場合の例を以下に示す。詳細はリアルタイム PCR 試薬の取扱説明書を参照のこと。

1. 反応液調製

| | |
|--|--------------|
| One Step PrimeScript III RT-qPCR Mix, with UNG (2 \times) | 12.5 μ l |
| HeV Primer/Probe Mix (10 \times) | 2.5 μ l |
| ROX Reference Dye II* ¹ | 0.5 μ l |
| 滅菌精製水 | 7.5 μ l |
| RNA サンプル* ² | 2.0 μ l |
| <hr/> | |
| Total | 25 μ l |

* 1 : ROX で蛍光強度の補正を行うリアルタイム PCR 装置を使用する場合に添加する。不要な場合は、代わりに滅菌精製水を 0.5 μ l 添加する。

* 2 : 精製 RNA を使用する。

2. PCR 条件

<逆転写反応>

(25 $^{\circ}$ C 10 分)*³
52 $^{\circ}$ C 5 分
95 $^{\circ}$ C 10 秒

<2 step PCR : 45 サイクル>

95 $^{\circ}$ C 5 秒
60 $^{\circ}$ C 30 秒 (FAM(/ROX)*⁴) 検出

* 3 : PCR 産物によるコンタミネーションが疑われる場合には、UNG 処理のため、25 $^{\circ}$ C 10 分のステップを実施する。

* 4 : ROX Reference Dye II を使用した場合に設定する。

● 使用に際して

Primer/Probe の配列内に遺伝子の変異や欠損/挿入が生じた際には、検出できない場合があります。(反応結果により発生する問題に関して、タカラバイオ株式会社は一切の責任を負いません。)

● 参考文献

国立感染症研究所「ニパウイルス感染症およびヘンドラウイルス感染症検査マニュアル (第 1.2 版) 平成 28 年 2 月 15 日」

● 関連製品

Hendra virus Positive Control RNA (製品コード RC604A)

PrimeScript はタカラバイオ株式会社の商標です。

● 注意

本製品は研究用として販売しております。ヒト、動物への医療、臨床診断用には使用しないようご注意ください。また、食品、化粧品、家庭用品等として使用しないでください。
タカラバイオの承認を得ずに製品の再販・譲渡、再販・譲渡のための改変、商用製品の製造に使用することは禁止されています。
ライセンスに関する情報は弊社ウェブカタログをご覧ください。
本データシートに記載されている会社名および商品名などは、各社の商号、または登録済みもしくは未登録の商標であり、これらは各所有者に帰属します。

v202302Da

タカラバイオ株式会社

ウェブサイト <https://www.takara-bio.co.jp>

製品についての技術的なお問い合わせ先

テクニカルサポートライン

Tel 077-565-6999

Fax 077-565-6995